

令和2年度 第2学年 **新学期に向けての課題**

新学期のスタートが1週間延期になりましたので、この間にやるべきことを追加します。

前回提示された課題に加えて、以下の内容に取り組みましょう！

もっとできる人は、さらに自分で課題を見つけ、どんどん先に進んでかまいません。

進路目標達成には2年生で自主的に動くことが重要です。頑張りましょう！

◆古川黎明高校新2学年 4月14日までの課題【予習と復習】

	<p>古典 問題集『基礎古典(古文・漢文) 古典読解トレーニングノート』21～30(p.44～63)</p> <p>※春休み(休校中)の課題において【取り組むことが望ましい】と指示していましたが、休校が伸びたため、正式な課題とします。「基礎現代文 要約トレーニングノート」については提出対象ではありませんが、取り組んでおくようにしましょう。</p> <p>※提出については、春休み(休校中)の課題「基礎古典」と同様に、古典Bの最初の授業時とします。</p> <p>○休み明けの授業について、現代文Bは『改訂版 現代文B』(数研出版) 評論(一)『手の裏返し』(p.14～20)、古典Bは『改訂版 古典B 古文編』(数研出版) 説話『十訓抄 大江山』(p.8～11)を学習していきます。予習しておきましょう。</p> <p>○他の教科からも多く課題が出ていると思います。いつ学校が始まってもいいように、計画的に進めていきましょう。学校が始まったら、元氣な皆さんに会えるのを楽しみにしています。</p>
数学	<p>【全員共通の課題】</p> <p>○教科書『改訂版 高等学校 数学Ⅱ』のP.51～63「剰余の定理と因数定理」の練習21～26を春休み課題の続きに解き、春休み明け最初の授業で提出すること。</p> <p>※内容は1年後期期末考査の範囲なので、復習事項です。</p> <p>※授業再開後、数学ⅡはP.55「高次方程式」から進めます。上記課題はその基本事項です。忘れていた人はきちんと思い出してから授業に臨めるようにしましょう！</p> <p>※解答は、ロイロノートの「R02_春休み」に10日(金)の資料箱にアップします。</p> <p>【連絡事項】</p> <p>○授業進度の関係で、春休み明け課題考査は中止します。その代わり、実施予定だった問題と解答をロイロノートにアップします。自分で時間を見つけてやってみよう！</p> <p>○上記課題では物足りない人は、『レジェンド数学Ⅱ+B』の例題43、44を読み、その下の練習問題にチャレンジしてみよう。解法暗記でなく、解法理解できるように！</p> <p>○余力のある人は、教科書で予習をしてみてください。</p>
英語	<p>【課題】</p> <p>No.1 C英Ⅱ Lesson1 Part1(教科書p.5)</p> <p>①単語調べをしながら、全文を日本語に訳すこと ※自然な日本語になるように、文の構造を意識しよう</p> <p>②教科書下にあるQ1～Q3に答えること</p> <p>No.2 英語表現Ⅱ DUALSCOPE English Grammar in 36 stages 品詞の学習1～4 (p.80～87)、補充問題13～14(p.117～118) ※デュアルスコープ総合英語(文法書)の接続詞と前置詞の範囲を熟読しながら問題に取り組むこと</p> <p>No.3 ユメタン(※提出不要) 2学年では、小テストをユメタンのフレーズから出題します。CDを聴きながら覚えていきましょう。</p> <p>【取組方法】</p> <p>1. 課題No.1(C英Ⅱ)はノートかルーズリーフに書く。課題No.2(英表Ⅱ)は1年次に使用していたノートなどの続きに取り組んでかまわない。タイトルやページなどを必ず記入すること。</p> <p>2. それぞれの解答をロイロノートで配布するので、○付けと間違え直しを必ず行うこと。解答配布は4月13日(月)、参加コードは黎明メールで連絡します。</p> <p>【提出方法】</p> <p>前回の課題と同様、春期休業明け最初のC英、英表の授業で提出 ※新学年・クラス・番号を記入すること</p> <p>【補足】</p> <p>質問がある場合には、「質問箱」を積極的に利用してください。</p>
地理	<p>教科書P4～9、30～41まで熟読すること。</p>
世界史	<p>【世界史A選択者】</p> <p>・教科書54②(Ⅱ部むすびつく世界と日本)から学習します。各節ではどんなことを学ぶのか確認しながら本文を読み進めておくこと。その際、わからない語句が出てきたら、意味を調べておくこと。特に本文中の文字の出来事や人物などは資料集等で確認しておくこと。</p> <p>【世界史B選択者】</p> <p>・教科書201②(第8章近世ヨーロッパ世界の形成)から学習します。まず、各章の導入文(本文の手前にある小さな文)を読んで、各章で学ぶ全体像をつかんで(何を学ぶのか、どこを学ぶのか等)から、本文を読み進めていくこと。途中、わからない語句が出てきたら、意味を調べておくこと。出来事や人物などは資料集等で確認しておくこと。</p>
日本史	<p>【日本史A・B】</p> <p>・教科書に目を通しておきましょう。</p> <p>・日本史Bは全時代の歴史を学ぶ科目ですが、近現代史(幕末)からはじめる予定です。(教科書p249～)</p> <p>・日本史Aは近現代の歴史を学ぶ科目ですが、Bと同じく幕末からはじめる予定です。(教科書p18～)</p> <p>・教科書の表紙裏の見開きページを見て、旧国名を覚えておきましょう。</p>
物理基礎	<p>1. 教科書『改訂版 物理基礎』p.5～16まで予習</p> <p>2. リードLightノート(数研出版)p.2～8まで予習ノートに解く</p> <p>※教科書を読んで自力でわからなかったところは、後日解説します。</p> <p>今後、休校が長期化するようであればweb会議ツール「Zoomミーティング」を使用した遠隔授業の導入も検討しています。可能な範囲で構いませんので、自宅からZoomミーティングへの接続テストを確認して下さい。</p> <p>※授業のミーティングIDは別途通知します。Zoomミーティング授業の使用は無料ですが、通信料は別途発生しますので、自宅のWiFi等での接続を推奨します。</p>
化学	<p>1. 教科書の復習(やったところまで)</p> <p>2. サンダイヤルドリル P1～43</p> <p>3. ニューステップアップ化学基礎 ・使い方のページ P95</p> <p>・P99 問158～162 ・P101、108～109、112～113 問168まで</p>
地学基礎	<p>1. 教科書『改訂 高等学校 地学基礎(第一学習社)』p.22～37まで予習</p> <p>★第3節 太陽系の中の地球 ⇒ 第2節 太陽 ⇒ 第1節 宇宙の構成 の順に進みます</p> <p>※太陽系の天体については中学の時にやっているので、どこまで覚えているかも確認すること</p> <p>2. セミナー地学(第一学習社)p.26～32まで自力でできるといいですね。</p> <p>3. 最低限、授業が始まるまでに、教科書は目を通しておくこと。(図表は関連ページを把握しておくこと)</p>
そ	<p>スタディーサポートは休校明けに実施する予定です。</p>

この
他 事前学習として、スタサボ活用ブック（スタディーチャージ）をそれまでにやっておいてください。スタサボ実施日に提出してもらいます。（実施日についてはまた後日連絡します）